発行日　２０１８年１１月号

北葛だより
みっちゃんの宅配便

今井光子の県議会だより

日本共産党奈良県会議員団
奈良市登大路町３０奈良県議会内　℡０７４２（２７）５２９１
今井　光子　広陵町馬見北３－４－２５　Tel&Fax０７４５（５５）８７２５
メールアドレス：mituko38@amber.plala.or.jp

９月議会補正予算に賛成

やっと教室のクーラー設置に補助金が付きました

通学路・学校の危険なブロック塀撤去へ

全国ワースト１位

高齢者運転免許講習更新期間　短縮へ

奈良県の小中学校のクーラー設置率７．４％とけた外れに低いことが大問題でしたが９月議会では９億円の予算が付きました。県が市町村のクーラー設置を応援するものです。

これによって国の対策と、県の費用をつかえが自治体の負担は軽くなり、自治体には貸付も可能です。この予算を利用すると来年の夏にはほぼ９８％実現の見込みです。

北葛城郡では王寺町と河合町が未設置ですが実現に向けて力を合わせて頑張ります。

＊

ブロック塀撤去は大阪北部地震によって小学４年の児童がなくなり、６月議会で緊急に一般質問しましたが補正が組まれてすでに県立高校や警察施設の危険なブロック塀が改善されました。

＊

高齢運転者の免許更新講習は待ち時間が「平均８か月」で全国ワースト１位でしたが、今回は免許センター（新ノ口）の２輪車のスペースを高齢者向けに改修する予算が出され、待ち時間が短縮される見通しです。

県議会予算員会で論戦

今井光子議員

際立つ奈良県政の異常

県議会での論戦を通じて、奈良県政の異常が際だっています。

県立高校統廃合
要綱無視して内部で検討

前回再編の時は、県立高校将来構想審議会要綱、高校再編計画審議会を設け要綱を作りましたが今回は内部で検討し直前の発表でした。要綱は廃止されていないため、奈良県のルールとして生きたものです。

今井　前回の高校再編では県立高校再編検討委員会を設置して要綱を作ったのに今回はなぜ審議会、検討会を設置しなかったのか

教育長　認識がなかった。県南部、東部などの学校定員割れを含めて内部で検討すべきと考えた

今井　私学は１校当たり平均で１９クラス、県立は２０クラス、一クラス減らして私学並みにすれば高校削減しなくてもいいのではないか

県立高校を３３校から３０校に減らす計画は公表されたのが６月８日、６月議会で承認されたのが７月９日でした。９月議会では高校計画条例改正案に日本共産党は反対しましたが賛成多数で可決しました。

計画条例変更は　芸術高校を高円芸術高校に校名を変更、再編対象の学校の場合、入学した学校名で卒業まで行くとしたため賛成しました。

県立高校再編成関連議案の態度

	評決結果	今井（共）	乾（自奈）	清水（維）
議第８１号県立高校計画条例改正案	○32×11　可決	×	○	○
議第８９号県立高校実施計画変更条例	○37×6　可決	○	○	○
請願８号平城高校存続を求める請願	○11×31不採択	○	×	×
請願９号奈良高校耐震化を求める請願	○14×28不採択	○	×	×

○は賛成、×は反対

奈良県の医療費削減目標は大阪府の１０倍
社会保障削減の全国のトップランナー

知事への総括質問で。地域別診療報酬は取り消すようにと求めました。奈良県の第３次医療費適正化計画では２０２３年の医療費目標が４３１８億円になっていますが、県計画に示されていた国の数値は適正化後の計画とされているため、このままで推移した時にいくらになるのかが不明でした。

県が出してきた数値では、２０２３年の奈良県の医療費は、

１、このままいった場合国の数値　５２９６億円
２、適正化計画後の国の数値　５２４５億円
３、奈良県の医療費目標　４８１３億円
４、いくら減らすことになるか　４８３億円（大阪３１９．５億円）
５、県民一人当たりにすると　３６０４４円（大阪　３６２２円）

２０２３年までに大阪では府民一人当たり（８８２万人）３６２２円、奈良県は県民一人当たり（１３４万人）３６０４４円。全国でも独自に国の見込み以下に設定しているところはありません。奈良県は２０２３年に医療費目標が達成できないときは地域別診療報酬を導入するとしています。

奈良県は全国に比べて一人当たり医療費は全国平均以下の２８番目。国保の広域化も奈良県が平成２４年に言い出したことです。これによって３７市町村中３２市町村が保険料が上がることになります。

今でも１割が滞納、保険証が手元にない人が約８０００人。医療の無駄は見直すべきですがこれでは奈良県の医療が崩壊になりますし奈良県が行うことで全国にも大きな影響が出てくることになります。医大でも医療費が払えない不能欠損が年々増え平成２９年度は２２億円にもなっています。知事は「削減ではない」と言いますが、削減に違いはありません。社会保障は社会安定の土台であり安心して医療が受けられる体制こそ実施するべきです。

９月２８日から１０月２日まで開催された９月定例奈良県議会予算審査特別委員会で、県政全般にわたる諸問題を取り上げ論戦。県民暮らしのアンケートで寄せられた地域要求について３２項目取り上げ、実現を求めました。
予算委員会で取り上げたことを紹介します。

40人以下学級を基本にすべき

今井　中学校で１クラス４０人を超える実態がある。支援学級を独自でカウントしているが、実態は一緒に授業を受けている。実態で４０人以下にするべき。奈良県内の学校でこのような実態がほかにあるのか調査をするべき。

教育委員会　実態を調査をします。

9月定例県議会報告

平城宮跡の利活用
イベント広場化を懸念。住民参加型の取り組みに
同じイベントに県の支出は奈良市の倍以上！

今井　平城京の駐車場が少なく、行きにくいとの声を聴く。向かいの積水の跡地は駐車場を中心に考えるべき。

観光局　駐車場優先で検討していきたい。

今井　平城京で天平祭が年３回実施されている年間２億５０００万円が使われている。奈良市が春、県が夏、秋を担当しているが、イベント費用が県は奈良市の倍以上かかっている。どこが違うのか。

県　奈良市はボランティアが多い。県ももっと住民参加型に大立山祭りも改善していく。

今井　大立山も監査が指摘しているが、担当課が大立山の実行委員長になり、使った費用の監査も同じところが行っている。天平祭は費用のほとんどがイベント会社の委託費、東京に本社のあるところ。せっかく税金をつくなら県民が潤う形にするべき。管制のイベントではなく県民の自主性を引き出すものにしていかないと長続きしない。

県庁の障害者雇用 あらゆる障害を対象に

予算委員会
2018年9月28日～
今井 光子議員

今井　県庁の障害者雇用、手帳を確認しない水増しがあった。何年もこれが続いていたのは異常。民間はペナルティがあるが官庁はなし。しかも県庁の雇用から精神障害者、発達障害者は外されている。「障害のある人もない人も共に生きられる奈良県を作る条例」が昨年実現した。仕事をよく考えて、すべての障害を対象に対策をするべき。

県　今後あらゆる障害を対象に検討していきたい。

「小菊」の選別ロボット導入に支援を

今井　宮本議員も一般質問したが小菊の選別はかなりの労力がかかっている、平群の小菊は日本1、機械が導入できるように支援をしてほしい。

農林部　支援できるように考えていきたい。

１１月１４日から経済労働委員会の県外視察で沖縄県へ。沖縄県も平群町と競う小菊の産地ですが、小菊農家にすでに選別ロボットが導入されて活躍しています。農家の方は、ロボットの導入で労働の負担が減り、その分家族の団らんが増えた。作付面積を増やし収益アップにつながっている。後継者もできたと話されました。

県庁職員の働き方改革について

今井　県庁の働き方改革、昨年タイムカードの時間と残業手当の時間と５２時間の差があった事例が出たが改善されたのか。

県　在庁時間と手当の実感の差は３６％削減されてきている、昨年は乖離時間平均４４分だったが今年は２８分になった。１時間以上の残業は３１％から６％に改善されている。

今井　奈良県最大の職場の県庁の働き方を変えて働きやすい奈良県にしてほしい。

要望実現　高田法隆寺線道路

県民暮らしのアンケートなどで改善要求が出されていたもので、住民の皆さんとウォッチング活動をおこなったところです。広陵町赤部の県道のポールが新しく改善されました。

県域水道一体化 地域の「水」を守る

今井　危険な西大和の給水塔の撤去に補助してほしい。県水広域化で職員の技術の低下が心配。県職員と、委託職員の人数はどうか。

水道局　有利な貸し付けがあるのでそれを使ってほしい。
県職員が７４名、民間委託が７２名。

中央卸売市場　防災対策・代替電源確保を

今井　中央卸売市場、台風で9時間停電になったが、もっと長期になった場合に県民の台所が大変なことになる。卸売市場のリニューアル計画に代替え電源を入れるべき。

農林部　その方向で検討したい。

共産党提案の生保世帯のエアコン修理・電気代等支援を求める意見書
全会一致で採択

〔意見書〕今議会に日本共産党が提案した「エアコン購入など生活保護の改善を求める意見書」が全会一致で可決されました。
生活保護世帯のエアコン設置、修理、電気代の夏季加算などを求めるものです。

日本共産党奈良県会議員団は、今夏の猛暑の中、保護費の切り下げが行われたことで、生活保護世帯のエアコン購入や電気代などに支援の拡充を求めて要望書を県に提出しました。

〔政務活動費で２つの議案が提案されました〕
１つは創生奈良から政務活動費の廃止条例の提案、１つは維新から同削減条例の提案が出てきました。共産党としては地方自治法に定められたもので透明性を確保して県民に付託された任務を行うべきで廃止案には反対。実際には使用せずに返済している額も大きいため、一定額を減額するという実態に見合った改善条例については賛成しました。いずれも否決になりました。

ひととき

経済労働委員会で沖縄に視察に行ってきました。南方諸島合同慰霊祭が毎年11月16日に糸満市の「大和の塔」（だいわのとう）で行われます。今回はそれに参列させていただきました▼「やまと」といわず「だいわ」と呼ぶのは戦艦大和のイメージがあるからとのこと。奈良県の戦没者の６割が沖縄や南方諸島で亡くなっています▼塔の中には１５７８１柱の名前が収められ、基壇の周りには吉野川から持ってきた玉石が埋め込まれ、その一つ一つに名前が書かれているそうです▼ひめゆりの塔では戦争中に亡くなったのは９名、沖縄戦が激しくなり６月18日に部隊の解散が突然告げられ、その後１００人以上が自決するなどなくなっています▼大日本帝国憲法のよく年に教育勅語が作られ、お国のために命を落とすことを教え込まれました。憲法９条を変え、教育勅語を復活させ、また戦争ができる国にさせてはならないと思いました。

今井議員の政策や論戦、議会質問にご意見、要望をお寄せください